

その笑顔、ひとりひとりが宝物。

Smile

2024年 8 月号

vol.700



P3

「55年目の発掘と褒賞—第2期—」農業大賞に株式会社かまくらや

P4-7

受賞者の紹介



INDEX

| | | | |
|-------|---------------|-------|-------------|
| 02・12 | ……すまいる情報チャンネル | 13 | ……あしたへのあんしん |
| 08・09 | ……安曇野豊穰堂農メモ | 14・15 | ……うれし楽し交流広場 |
| 10・11 | ……ほっとレポート | | |

※表紙写真 第50回かかし祭りの虹マスつかみ取りに参加した角田峻くん

令和6年度 粉摺り調製技術者講習会開催のお知らせ

粉摺り調製技術者講習会を下記のとおり開催いたします。また、水分計の検定も行いますので、希望される方は、当日新しい電池を入れ、記名してある水分計をご持参ください。



| 開催日 | 開催時間 | 会場 | 対象地区 |
|----------|-------------|--------------|------|
| 8月20日(火) | 9:00~10:00 | 有明出張所 2階会議室 | 穂高地域 |
| | 10:30~11:30 | | |
| | 13:30~15:00 | 安曇野スイス村2階会議室 | 豊科地域 |
| | 15:30~16:30 | 烏川支所 2階会議室 | 堀金地域 |
| 8月21日(水) | 9:00~10:00 | 梓川支所 2階会議室 | 梓川地域 |
| | 10:30~11:30 | 三郷公民館 講義室 | 三郷地域 |



次世代を担う子どもたちに食と農の大切さを伝えるため、安曇野で作られた農作物を使った料理教室「あづみのキッチン」を開催します。ご家族・お友達をお誘いの上、ご参加ください。おひとりでの参加も大歓迎です。お申込み、お待ちしております。

★料理教室開催日程★ ※都合により日程が変更になる場合がございます。ご了承ください。

- 8/24(土) 伝統食教室(夏野菜を使った料理)
- 8/25(日) おうちごはん(野菜のフォカッチャ他)
- 9/28(土) おうちごはん(おからのキッシュ風他)
- 9/29(日) 伝統食教室(もち米粉を使ったいちご大福他)
- 10/19(土) 伝統食教室(秋の芋料理)

募集人数 各教室 先着20名

開催場所 安曇野スイス村ハイジの里「食育ルーム」(安曇野市豊科南穂高5566-1)

持ち物 エプロン・三角巾(バンダナ)・ハンカチ(タオル)・上履き

申込方法 FAXまたはメールにてお申し込みください。ご連絡いただいた方に必要書類をお送りいたします。

※食物アレルギーのある方は、
あらかじめご連絡ください。

【あづみのキッチン事務局】 営農経済事業部販売開発課
TEL:0263 (72) 2933 FAX:0263 (72) 8551
e-mail : a-kitchen@azm.nn-ja.or.jp

JAあづみ創立60周年記念企画

農業大賞に株式会社かまくらや

55年目の発掘と褒賞

〜安曇野の大地への愛と誇りを〜

〜第2期〜審査会

4時間を超える審査で決定

JAあづみ創立60周年記念企画「55年目の発掘と褒賞〜第2期〜」の審査会が5月22日、安曇野市豊科の本所で行われ「農業大賞」など3つの賞の受賞者を決めました。

この褒賞は、当JA創立55周年を代表する目玉イベントとして企画し、令和4年度までの3年間にわたり実施してきました。凄腕の生産者を世に送り出したことで組合員から好評を得ましたが、発掘人材はまだまだ多く残されていることから「第2期」として、令和7年度の創立60周年まで継続します。

たゆまぬ研究による著しい成果と功績をあげた農業者、安曇野の郷土の農業に挑戦する後継者の熱き想い、安曇野で農業を営む暮らしを始めた新たな担い手など幅広い世代層にスポットをあてることで、安曇野の今後の農業振興に繋げていくことを目的とし、受賞者には毎年褒賞を授与しています。（授賞式についてはスマイル7月号を参照

いただくか、下記を読み取りご確認をお願いいたします）

「農業大賞（研究開発

賞）」は肥料、種子、作型等の分野で研究や挑戦、改良等の著しい成果を上げた者やその成果で地域農業を牽引している農業者が対象。「後継者大賞」は、後継者不足の中、農業の大切さを認識し、高い志をもって農業振興に取り組み若い世代の農業者で、数年後、地域の担い手として活躍が見込める農業者を対象とし、「未来開拓賞」は「ターナー」などで新規就農を始めた農業者をそれぞれ対象として候補者を他薦により募集していました。

募集期間中に合計11人の推薦がありました。この日は、各候補者の資料を基に外部審査員やJA役職員で構成する審査委員会で4時間を超える厳正な審議が行われ、農業大賞に株式会社かまくらや、後継者大賞に板花克文さんと鶴見亮太さん、未来開拓賞に山田太一さんをそれぞれ選出しました。

次のページからは受賞者と受賞のポイントについて詳しくご紹介します。



スマイル7月号

| |
|--|
| <p>【後継者大賞】</p> <p>いたはな かつふみ 板花 克文さん</p> |
| <p>【後継者大賞】</p> <p>つるみ りょうた 鶴見 亮太さん</p> |
| <p>【未来開拓賞】</p> <p>やまだ たいち 山田 太一さん</p> |



▲資料に目を通す審査員ら
(5月22日)

【農業大賞】

代表取締役社長
藤本 孝介さん

株式会社かまくらや

受賞のポイント

耕作放棄地の解消・雇用の創出と共に 地域農業の受け皿に

「本物の信州産のそば粉をつくろう」と平成21年に設立したかまくらや。当時は、農業経験も地域からの信頼もない状態。農地は、何年も放置されていた荒地しか借りることが出来ませんでした。こうした状況下でも持ち前のチャレンジ精神を発揮。

創業当時から地域では前例のないそばの二毛作に挑戦。夏・秋の年2回、そばを収穫するという栽培形態の確立を目指しました。夏そばの栽培に関しては、ほとんどが手探りの状態でしたが①早生種を栽培品種に選定②専用肥料の開発③作業の分業化など- 試行錯誤しながら取り組みました。遅霜の被害により、植えた苗がすべて枯れるなど苦労は尽きませんでしたが、栽培を続けるうちに同社の作る夏そばは取引先から重宝されるようになりました。

創業から紹介された遊休荒廃地を積極的に受け入れる姿勢を取り、地域に貢献する取り組みや夏そばの栽培を成功させた情熱が地域の人々の信頼を集めるようになりました。そばを中心にジュース用トマトなど地域で不足している品種の生産にも取り組んでいます。

また、農福連携にも力を入れており、現在の従業員43名のうち12名は、令和3年に設立した就労継続支援A型事業所「安曇野みらい農園」で働くなど、地域とつながり貢献する活動にも積極的な姿勢を取っています。

今後は、「安曇野ブランドの価値や地域の景観などを守りつつ、地の利を生かして良質な農産物を出荷していきたい。そして、定年まで勤められるサラリーマン農業を実現し、地域農業や社会に貢献していきたい」と語っています。



地域で必要とされる農業法人へ

そば 120ha、ジュース用トマト 8ha、野沢菜7ha、玉ねぎ1.7ha、りんご1.5haで栽培。地域の信頼を集め、県内最大規模の農業法人へと成長しました。

—第2期—

55年目の発掘と褒賞 受賞者紹介②

【後継者大賞】

板花 克文さん

受賞のポイント

将来の持続可能な地域農業を見据えた栽培技術の取組み

就農当時2haの水田のみの耕作でしたが、10年程前から耕作を続けられなくなった農地を引き受けるようになり、令和6年には計15haまで拡大。年々増加する離農者からの依頼も地域の耕作放棄地化を防ぐため、条件の悪い農地でも出来るだけ預かるようにしているといいます。

特にジュース用トマトでは、地区内の大型農家も高齢化が進んでいることから、地域の受け皿として永続的に農業をしていく必要があると考え、令和5年9月より法人名「有限会社板花興業」での出荷を開始しました。8月の収穫期には最大20名程度を雇用するなど、地域の雇用創出にも貢献しています。

より多くの収穫量と作業の効率化を図るため、令和5年より新品種「デルモンテ3393」を試験的に導入しました。機械収穫用の品種ですが、その特性に着目し、手収穫での出荷を計画しています。病害虫対策として、天候に気を配り消毒作業にあたるなど管理作業も徹底している板花さん。令和5年に開かれた第40回中信地区ジュース用トマト多収穫共進会の「多出荷の部」で最優秀賞（長野県知事賞）を受賞されました。

今後も地区内の農地の受け手として栽培面積を増やすことにも意欲的です。また、ジュース用トマトの加工会社の希望数量に応えるため、ジュース用トマト栽培を今後も拡大したいと力強く話す地域を支える生産者です。

受賞を受けて板花さんは「素直に嬉しい。スマート農業などを導入し、作業の効率化を図るとともに、地域の雇用創出や後継者の育成などにも尽力していきたい。まだまだ限界ではない」と力を込めました。



県内の高校を卒業後、会社員を経て35歳で就農。父である板花金吾さんと従業員とジュース用トマト5.5ha、水稲8.5ha、玉ねぎ1haを栽培しています。

【後継者大賞】・・・後継者不足の中、農業の大切さを認識し、高い志をもって農業振興に取り組む若い世代の農業者で、数年後、地域の担い手として活躍が見込める者。

地域農業・農地を守っていききたい

【後継者大賞】

鶴見 亮太さん

受賞のポイント

地域農業の後継者として若手農家を牽引するリーダーシップ

叔父の農園では、りんご6ha、水稻8ha、小麦1.7haを作付けしています。地区の水田保全のため個人生産者の受託作業も15ha受けており、後継者として地域の農業を守るため叔父のもと、精力的に農業に邁進しています。

鶴見さんは、地域の担い手農家との仲間づくりや連携強化を図るため、平成26年にJAあづみ青壮年部温支部に加入。平成29年度までの4年間、支部長を務められました。支部活動などの組織活動への参加を通じて、地域の農業者同士の仲間づくり運動に力を入れてきました。

さらに令和4年から2年間、青壮年部長を歴任し、現在は、JA長野県青年部協議会の副会長を務めています。長野県内の農業者の仲間とともに、長野県農業を引っ張っていくためリーダーシップを発揮されています。

この何事にも積極的に取り組む姿は、農業のみならず、地域の中でも若手の農業者の牽引役として地域農業を支える大きな原動力となっています。

今後、鶴見さんは、りんごの高密植わい化栽培の改植にも取り込まれ、温地区のりんご栽培でも大きなリーダーシップを発揮されることが大いに期待されています。

また水田作においても、荒廃農地にならないよう離農等の相談も真摯に受け止め、叔父と連携し、農地の維持保全に精力的に努めています。

鶴見さんは「将来的には法人化し、担い手や農地の受け皿として地域農業を守っていきたい」と意気込みました。



県の農業大学校を卒業後、叔父である鶴見武敏さんの後継者として23歳で就農しました。現在は、叔父や叔母とともに水稻や小麦のほか、約10品種のりんごを栽培しています。

担い手の育成や農地の受け皿に

【後継者大賞】・・・後継者不足の中、農業の大切さを認識し、高い志をもって農業振興に取り組む若い世代の農業者で、数年後、地域の担い手として活躍が見込める者。

—第2期—

▼山田さんが開発したオリジナルジェラート

55年目の発掘と褒賞 受賞者紹介④

【未来開拓賞】

山田 太一さん



受賞のポイント

東京から安曇野の地で励む

特産品の生産振興・PR活動

食に関わる仕事がしたいという長年の想いを叶えるため20年勤めた会社を辞めて安曇野に移住し、就農した山田さん。高知県や広島県なども候補地となっていました。安曇野の美しい景観や夏秋いちごの栽培が急成長していたこともあり就農を決意しました。

平成28年8月よりJAあづみの子会社「有限会社あづみアグリサービス」の研修生として、約1年間夏秋いちごの栽培を勉強した後、平成30年に独立。農地を借りて夏秋いちご農家として栽培を始めました。10%よりスタートした栽培は、ハウスを増設しながら、28%まで規模を拡大。

栽培2年目の令和2年には、規格外いちごを有効活用したオリジナルジェラートを開発。ジェラート屋さんと協働し、JA管内の農家では誰もやっていない、いちごの含有量70%の贅沢なジェラートを作り上げました。現在、JA直営の直売所「安曇野スイス村ハイジの里」や地元のカフェ3店舗などで販売しており、安曇野市のふるさと納税の返礼品にも出品。生産が追い付かないほどの大人気商品となっています。

産地のPR活動にも積極的に参加されており、行政主催のイベントや「銀座NAGANO」等のマルシェでの直売、安曇野市のサイクルマップに掲載を行うなど、安曇野産夏秋いちごのPRも率先して行っています。1ターン農家にもかかわらず、地域の農業委員を3年間務めるなど、地域との繋がりも大切にされています。

山田さんは「これまでの経験から新たな取り組みを通じて夏秋いちごをもっとPRしていきたい。県内外の人達にも興味を持ってもらえるよう生産者らと協力してやっていければ」と話しました。

都内のIT企業に20年勤めた後、長年の想いを叶えるため移住し、就農。現在、ハウス16棟28%で夏秋いちごを栽培しています。

【未来開拓賞】○○ | ターンなどで新規就農を始めた者

(※新規就農者…概ね就農5年未満の親元、UJターン、新規参入等)

誰もやってないからやる

豊かな安曇野の大地が育てる安全・安心な自然の恵み。皆さんと一緒に元気な農業をお手伝い!

果実

適期収穫を心掛けましょう

8月は平年と比べ気温が高い予想がされているため、特に日焼けの発生に注意した収穫前管理と適期収穫に努めましょう。また、土壌の乾燥が日焼けを助長するため、しばらく降雨が見られない場合は、早めに灌水を行いましょう。

◆りんご

見直し摘果(樹上選果)を行い、変形果や肥大不良果を摘果し品質を揃えましょう。早生種の収穫期となりますので、枝吊り、支柱立て、葉摘み、玉回し等の収穫前管理を行いましょう。収穫は適期を把握し、特に収穫遅れにならないよう注意しましょう。

◆梨

見直し摘果(樹上選果)を行い、変形果や肥大不良果を摘果しましょう。また、来年の結果枝作りのために、新梢誘引作業を引き続き行って下さい。早生種の収穫期を迎えますので適期収穫に努めましょう。

◆いちじく

新梢管理を行い柵面より光りが入るようにしましょう。遅伸びする新梢は、随時摘心を行って下さい。ジベテラの収穫期となりますので、適期収穫に努めましょう。

◆桃

収穫最盛期を迎えています。収穫は日中の暑い時間帯を避けて、収穫遅れにならないよう注意しましょう。

晩生種は除袋や着色管理に努めましょう。

◆ブルーベリー すもも

収穫作業が続きます。品種ごとの成熟特性(外觀、食味、品質)を確認し、適期収穫に努めて下さい。

詳しくは、各地域営農センター果樹指導員までお問い合わせ下さい。



(梓川地域営農センター課長代理 博沼友和)

水稻

今月は、高温登熟対策や、カメムシ類による斑点米対策を行い、良品質米生産に努めましょう。

8月の水管理

昨年は、猛暑による高温障害が目立ちました。こまめな水管理をし、高温障害を回避しましょう!

高温による品質低下を軽減するには出穂期以降、圃場の地温・水温上昇を抑える為、水利条件に応じた水管理がポイントです。差し水やかけ流し管理等を実施し、地温・水温の低下に努めて下さい。長期間の湛水は高温障害を招く可能性があるので、適宜水の入れ替えを行い、以降は落水まで間断灌水を行いましょう。早期の落水は胴割れ米の発生原因となりますので、田面が乾くようであれば走水をししましょう。

カメムシ類・穂もち病防除

カメムシ被害は斑点米となり等級を落とす原因になります。粉剤や液剤で防除する場合、早生品種は、必ず穂揃期と傾穂期の2回、「シヒカリ」は、傾穂期に防除を行います。

穂もち病は、出穂後雨が多かったり、天候が不順な場合『いもち病』の発生が心配されます。予防防除が

基本となりますので、昨年発生した圃場は注意し被害を最小限に抑えましょう。

農業によつては使用期限の迫っている薬剤もあります。ラベルを十分確認してから使用して下さい。

【出穂期】 ・ 全茎数の40～50%出穂した日

【穂揃期】 ・ 圃場の80～90%出穂を確認した日

【傾穂期】 ・ 圃場の80～90%穂が傾いたのを確認した日

詳しくは各営農センター又は各地区営農指導員までお問い合わせ下さい。

水稻栽培日誌の提出について

2回目の水稻栽培日誌の提出が8月16日(金)までとなっています。安心・安全確保のために、栽培日誌の提出が不可欠です。ライスセンターやカントリーエレベーター等の施設を利用される方は、出荷の有無に関わらず栽培日誌の提出が必要になります。



(三郷地域営農センター課長代理 逸見 守信)

そ菜

夏野菜の収穫が本格化してきました。酷暑の時期を迎えるなか、乾燥により畑の土壌中の水分が不足してきます。トマトやスイートコーン、きゅうり等の作物については、土壌の湯き具合に応じて、朝夕の涼しい時間に畝間灌水をお願いいたします。ただし、一度に多量の水を与えてしまいますと根を痛める原因となります。畝間に長時間滞水しない量を意識して灌水をお願いします。

たまねぎ

〔育苗準備〕

播種は、定植から逆算して55〜60日前が適期となりますので、今月中に播種の準備を進めましょう。

管内で栽培されている主な品種は「七宝甘70」と「ネオアース」です。それぞれ、9月5〜10日の間の播種がおすすめです。種子量は10アールあたり6de、シーダーテープでは600m必要となります。苗床用に1坪当たり完熟堆肥で

10キロ、アツミン苦土石灰1キロ、1Bそ菜苗床1キロ、BM重焼燐200グラムを施肥してください。

その後、床作り（高さ10cm以上、畝幅120cm）を行います。雨等で水浸しないよう高畝としてください。

床作りが終了したら、雑草対策として土壌消毒剤NCSを散布します。30倍液を播種の30日前までに土壌の表面に均一に散布してください。

その後、ビニール等で7日〜14日被覆をして、ガス抜き（表層の3cm位を耕起）7日〜10日後に播種をしてください。

播種時期を逃したり、大苗になったりすると抽苔の原因となります。草丈20〜25cm、本葉4枚、1本の重量が2.5〜3.5グラムの太くない苗が良質で理想とされます。詳しくは各地域営農センターへご相談ください。



（梓川地域営農センター 唐澤 久智）

陸ワサビ生産者募集

ハウスで栽培できるワサビを一緒に作りませんか??

※ハウスや灌水設備が必要となります。

陸ワサビの栽培メリット

- 適切な管理によって収穫量UP・収入UP!!
※栽培がはじめての人でも栽培講習会などで栽培のポイントを教えます。
- 価格が決まっているので、安定収入が見込めます。
- 出荷コンテナ代などの出荷経費が掛かりません
- 選別が簡単です。規格が合えば、全量出荷できます。

1aで1t 収穫できた場合は20万円の売上に!!

※契約栽培となりますので、全量（株）マル井へ出荷いただきます。※20万円の売り上げを保証するものではありません。※栽培状況により収量実績は変動します。※ハウスを活用した栽培となります。

8月中に栽培講習会を行います。詳しくは、お近くの地域営農センターまで

新規栽培希望者説明会
～開催のご案内～

8/23(金) 13:30～
広域営農センター2階
(安曇野市堀金2650-1)

横綱玉ねぎ決定 第5回ジャンボ玉ねぎコンテスト

豊科支所は、1支所1協同活動の一環で「第5回ジャンボ玉ねぎコンテスト」を開きました。コンテストは大相撲に見立てたユニークな企画で、生産者はエントリーシートに所属部屋名や四股名などを記載して応募。会場には出品玉ねぎがずらりと並び、横径と重量を計測しました。

大きな玉ねぎ部門は、「甘70」と「ネオアース」の部を設けて審査。豊科南穂高の赤澤喜夫さんの「喜の山」（甘70）と「澤の海」（ネオアース）がそれぞれ横綱に輝きました。「ユニークな形部門」では、同地域の理事や宮農センター長ら審査員6人の投票で特別賞を決めました。



▲玉ねぎの大きさを計測するJA職員

秋ストック播種講習会 工夫を凝らした方法試す

JAあづみ、JA大北、JA松本ハイランドの生産者でつくる中信ストック協議会は、安曇野市堀金のそ菜特産流通センターで秋ストック播種講習会を開きました。

生産者や松本農業農村支援センターの職員ら約20人が参加、宮農経済事業部農産課の小山幸亮宮農指導員が播種方法を説明しました。

講習会では育苗箱に培土を敷き詰め、5cm間隔で深さ1cm程度の溝に均一に播種しました。作業効率を高めるため電動歯ブラシの先にV型の加工したプラスチックを付けて播種する方法なども試しました。



▲手や電動歯ブラシで播種する生産者ら

貯蓄から投資へ 資産運用・資産形成セミナー開講

金融共済事業部貯金課は、豊科公民館で2年ぶりに「資産運用・資産形成セミナー」を開講し、地域住民ら23人が参加しました。

新NISAや投資信託などについて理解を深めることも、ゆとりあるセカンドライフに向けた資産形成の大切さを伝えました。

農林中金全共連アセットマネジメント(株)から吉澤清志講師を迎え、約90分間講演を行いました。降旗功一常務理事は「当JAではひとりひとりに寄り添った提案・相談活動を実践している。将来の不安を払拭するため気軽に相談して欲しい」と述べました。



▲講演する吉澤講師(中央)

来場者数250万人達成 オープンから8年で

安曇野市豊科の大型農産物直売所「安曇野スイス村ハイジの里」の来場者数(レジ通過者数)が250万人に達しました。開設から8年での達成。

同日、レジで会計をした安曇野市豊科の立石航雅さん家族が250万人目となり、宮澤清組合長が記念品の安曇野産「コシヒカリ」10キロとフルーツの詰め合わせを贈ると、来店者やJA役職員が拍手で祝福しました。

宮澤組合長は「地産地消・国産国産の拠点として、生産者や消費者がつどい、交流する場になるよう運営していきたい」と意気込みました。



▲立石さん家族と宮澤組合長

市場担当者情報交換 出荷本番前に作柄確認

JAあづみ果樹園芸専門委員会は、令和6年度果実現地作柄確認及び情報交換会を開きました。同会役員や若手生産者、JA役職員、市場担当者ら約40人が参加。安曇野産果実の出荷本番前に正確な産地情報を共有し、今後の販売に弾みをつけようとする企画。

作柄確認ではりんごや桃、ぶどうなど5カ所の園地を視察。生産者やJA職員が令和6年産の生育状況を説明しました。

情報交換会では当JAの消費者の認知度や産地の強みなどをテーマに要望や意見を交わし、果実の競合産地の動向や販売方針などを協議しました。



▲市場担当者に意見を述べる生産者

支部員が手ほごき 児童館と連携しまんじゅう作り

JAあづみ女性部有明支部は、安曇野市社会福祉協議会が運営する穂高北部児童館で七夕まんじゅう作りを行いました。16家族29人が参加、地元食材を使った伝統食「七夕まんじゅう」を作り、和やかに交流しました。支部員が講師を務めました。

地域に役立つ活動がしたいと支部員が声をあげたことで、同館との交流が始まり2年目を迎えました。

秋山やよい支部長は「核家族化している中で、地域のみなさんと交流出来て嬉しい。地域とのふれあいが深まる活動を続けていきたい」と話しました。



▲完成したまんじゅうを一緒に食べる部員たち

安曇野生生まれの夏秋いちご

名称「あまあづみ」に決定

7月11日

夏から秋にかけて栽培する「夏秋いちご」の新品種の名称が「あまあづみ」に決まりました。安曇野生生まれの品種は初めて、穂高西小学校4年生の原優真さんが考案したネーミングが採用されました。

17 小中連携で
目標を達成しよう

12 学びを
つなぐ未来

9 健康と環境を
両立しよう

新品種は、安曇野市堀金で夏秋いちごを栽培する堀井勇司さん（JAあづみ夏秋いちご部会）が8年かけて育成。夏秋いちごとしては、糖度が高く、芳醇な香りや果汁の多さが特徴。適地で栽培することから、国内で生産が落ち込む夏秋期の需要に応えられる新たな品種として期待されています。収穫期は5月下旬頃～11月末頃まで。

県の育成品種「サマープリンセス」に他のいちごを掛け合わせて生まれしました。大学時代に育種の技術を学んでいた堀井さんは「農家が作りやすく、果実のいいところを残した育種が良かったです。いい物が出来た」と手ごたえを口にしました。令和4年6月、農林水産省に



▲市役所で開かれた「あまあづみ」のお披露目会



▲堀井さんが開発した新品種「あまあづみ」

品種登録出願（ASK111）し、同年9月に受理されました。名称は、市や当JA、生産者らでつくる安曇野市農業再生協議会が令和6年4月15日から1か月間募集していました。全国43都道府県から1255件の応募があり、6月下旬に開かれた選考委員会で決定。新品種のイメージを表している、安曇野らしく、親しみやすいネーミングという点が評価されました。

同日、安曇野市役所で新品種の名称お披露目会が開かれ、太田寛市長や堀井さん、穂高西小学校4年生ら約40人が出席。命名者の原さんには市関係者から賞状が、堀井さんからは副賞としてあまあづみのいちご刈り招待券が贈られました。品種開発者の堀井さんは「育種は年一度しかできないことなど、簡単ではなかった。時間はかかったが、安曇野生生まれのいちごとして他産地との差別化を図りたい」と意気込みました。

地域の伝統食伝える 七夕まんじゅう作りに挑戦

7月9～10日

JAあづみ女性部は、安曇野市立豊科北小学校で七夕まんじゅう作り講習会を開きました。あぐりスクールサポート事業の一環で7年ぶりに実施。2年生89人は安曇野で盛んに栽培されている大麦と小麦の違いを学び、なすとあんこのまんじゅう作りに挑戦しました。

教諭は「JAに依頼したことで、一人一人しっかりと学ぶことが出来た。手厚い支援をいただき、子どもたちには五感を使って、知見を広げてほしい」と話しました。



▲まんじゅう作りに挑戦する児童たち

夏の恒例「かかし祭り」50回目の節目迎える

7月13～14日

安曇野市堀金の総合事業基地一帯で創立60周年記念企画「第50回かかし祭り」を開きました。世相を反映したユニークなかかし45体が並び、農業機械や園芸用品などを販売。家庭菜園教室やキッズダンス、虹マスのつかみ取りなどのイベントのほか、射的やヨーヨーつりといった子供向けの屋台も人気を集めました。

宮澤清組合長は「今回で50回目の節目を迎えた。今後も組合員や利用者との対話活動を通じて絆を深め、感謝と奉仕の気持ちを持って運営していく」と話しました。



▲名物のかかしを眺める親子

安曇野産「桃」出荷スタート 甘み乗り品質上々

7月17日

当JA管内で夏の味覚「桃」の出荷が始まりました。安曇野市三郷の小倉選果所で、早生種の「櫛形」と「赤玉」を選果し、県内市場に初出荷しました。令和6年産は、着果量が多く甘みが乗り、品質は上々。

選果所では、生産者が持ち込んだ桃をJA職員が一つ一つ手に取って、目視でキズの有無や着色などを確認し、選果機のベルトコンベヤーに流しました。機械センサーで大きさを判定し、「秀」「優」の2等級に分けて箱詰め。県内市場に合わせて約50ケース（1ケース15kg）を出荷しました。



▲キズの有無などを確認するJA職員

みどりの農業園芸講習会開催のお知らせ

新たな農業への挑戦と多様な担い手の確保を目的に下記の通り講習会を開催いたします。初心者向けのスタートコースと技術向上を目的とするステップアップコースがあります。

【スタートコース】開催場所：JA ファームみどりの店会議室 定員：20名

| 開催日時 | 講習内容 | 受講料 |
|-----------------------|--------------|------|
| 8/24 (土) 10:00～12:00 | 秋野菜を育ててみよう | 200円 |
| 10/26 (土) 10:00～12:00 | 連作障害と堆肥の基礎知識 | 200円 |

【ステップアップコース】開催場所：JA ファームみどりの店会議室 定員：20名

| 開催日時 | 講習内容 | 受講料 |
|----------------------|---------------------|------|
| 9/28 (土) 10:00～12:00 | 有機肥料の特徴と土壌診断・土づくり教室 | 200円 |

【寄せ植え教室】開催場所：JA ファームみどりの店会議室 定員：10名

| 開催日時 | 講習内容 | 受講料 |
|----------------------|--------|--------|
| 9/21 (土) 10:00～12:00 | 寄せ植え教室 | 1,500円 |

※電話でのお申し込みはできませんので、ご了承ください。

お申し込みは、みどりの店へご来店頂き、受講料のお支払いと一緒にお願いいたします。

なお、各講習とも定員になり次第、締め切らせていただきます。

【お問い合わせ先】JA ファームみどりの店 ☎ 0263-73-7667 営業時間 8:30～18:30



盆花のご購入は JA 直売所で

JA 直売所では **8月10日(土)から15日(木)まで** お盆のお供え花や新鮮な野菜、果物などを入荷し、皆様のお越しをお待ちしています。

営業日時や商品の入荷状況などにつきましては、各直売所にお問い合わせ下さい。



安曇野スイス村ハイジの里 ☎ 87-0812

あづみ野ふる里市 穂高農産物直売所

☎ 77-7530

☎ 82-3115

農繁期用(配達灯油・軽油) 特別値下げのお知らせ

9月1日(日)～10月31日(木)まで

3円/ℓ値下げ

「秋の農繁期にご使用される米乾燥機用の灯油・軽油」に限り、特別値下げをいたします。

生産者の皆様、是非ご利用ください。

<お問い合わせ先>

灯油配送センター (☎ 0263-72-7811)

新規就農相談会 随時開催

当 JA では農業従事者の高齢化や担い手の減少が進む中、次世代の安曇野の農業を担う農業後継者、新規参入者、団塊の世代から定年帰農者など多様な新規就農者を支援するため、『新規就農相談会』を随時開催しております。

ご希望の方は、営農経済事業部担い手支援室(☎72-2933)までお気軽にお問い合わせ下さい。

は、農業機械センター(☎73-6886)までお気軽にお問い合わせください。

点検・整備・修理・レンタルにつきましては、農業機械センター(☎73-6886)までお問い合わせください。

一条刈りバインダーをレンタル致します。どつどつご利用下さい。

レンタルバインダーを
ご用意しております

いよいよ稲刈りの時期が迫ってきました。農業機械センターでは、**9月2日(月)から9月29日(日)まで**、日曜・祝日も休まず**農繁期対応**として通常営業します。
(天候状況により期間を変更する場合があります)

らよらよ収穫期
農機の点検整備は万全ですか
〜農繁期対応致します〜



年金相談室

年金の専門家（社会保険労務士または年金相談員）がわかりやすく相談に応じます。

夜間や週末も開催しております。お仕事帰りやお休みの日にもお気軽にお越し下さい。

| 日 | 時 | 場所 |
|----------|-------------|-------------|
| 8月17日(土) | 10:00~16:00 | 三郷支所 |
| 19日(月) | 9:00~15:00 | 堀金支所 |
| 21日(水) | 9:00~15:00 | 豊科支所 |
| 22日(木) | 17:00~19:00 | 穂高支所 |
| 24日(土) | 10:00~16:00 | 有明出張所 |
| 27日(火) | 9:00~15:00 | 倭ふれあいセンター |
| 9月18日(水) | 9:00~15:00 | 西穂高ふれあいセンター |



シェフ 永井のおすすめ

夏野菜の南蛮漬け

「キッチン明人のオーナーシェフ 永井智一」



材料(人分)

- 鶏もも肉(薄切り)..... 1枚
- カボチャ(1cm幅)..... 1/4個
- パプリカ赤、黄(5mm幅)..... 各1/2個
- 新タマネギ(薄切り)..... 1個
- オクラ(下ゆでしたもの)..... 4個
- 輪切りトウガラシ..... 適宜
- 揚げ油..... 適宜
- 薄力粉..... 適宜
- 南蛮酢
- かつおだし..... 1450ml
- 酢..... 270ml
- みりん..... 180ml
- 薄口しょうゆ..... 90ml

作り方

- ボウルに新タマネギ、赤・黄パプリカ、輪切りトウガラシ、薄力粉をまぶし油で揚げた鶏もも肉、カボチャを入れる。
- 小鍋に南蛮酢の材料を沸かし、(1)に熱のまま注ぎ入れ、クッキングシートを落としラップで密封する。
- (2)の粗熱を取ってから冷蔵庫で冷やして器に盛り付け、オクラを飾り出来上がり。

CROSSWORD PUZZLE パズル

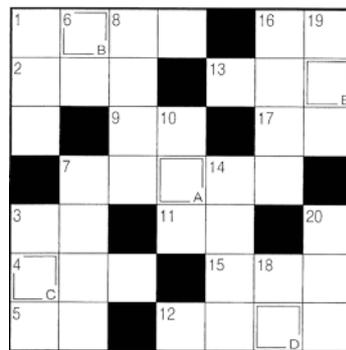
タテのカギ

- 文系より——系の教科の方が好きです
- 医者いらずと呼ばれることもある植物
- 数え年70歳の祝い
- 精霊馬に使われる野菜の1つ
- 肉詰めにするのも定番の夏野菜
- コンビニエンス——、チェーン——
- 関西国際空港や中部国際空港は、——地に造られています
- 夏場によく食べられる麺
- 座は蠍(さそり)座と山羊(やぎ)座の間にあります
- バナマヤスエズのものがある有名
- エビに見た目が似ているすしネタ

ヨコのカギ

- トマトやスイカに含まれる赤い色素
- 海で水上——を楽しむんだ
- 独特の香りから香魚とも書く川魚
- 無駄遣いをする事
- セーラー服のものは大きめ
- 孫悟空の乗り物です
- 酒などを入れる四角い容器
- ザーザー、しとしとと降ります
- 夏にはくズボン下
- アップの反対語。イメージ——
- パンダの遊具にも使われるゴム製品
- 小さな船を数えるときに使う言葉
- MB = ——バイト、GB = ギガバイト

Q. 二重マスの文字をA~Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか?



(JA広報通信より引用)

応募ハガキの記入方法

(皆様の声をお寄せ下さい)

63 399-8283 安曇野市豊科
JAあづみ総務課 四二七〇一六
マイル編集部 行

①クイズの答え
②郵便番号・住所
氏名・年齢・職業
電話番号
③JA・広報誌への
ご意見、日頃の
出来事など

応募締切
8月20日(火)必着

正解の中から抽選で3名の方に、JAまごころ商品券(1,000円分)をプレゼントします。
(毎月20日頃発送)

A.7月号の答え



解答 A B C D E
⊕ ⊖ ⊗ ⊘ ⊙

応募総数 44 通

当選者 安曇野市 務台さん
安曇野市 塩原さん
安曇野市 保高さん

かかし人気投票・スタンプラリー当選者のご紹介

7月13・14日の2日間、安曇野市堀金烏川のJA総合事業基地構内などで開催いたしました「第50回かかし祭り」にお越しいただき誠にありがとうございました。

厳正な抽選により、かかし人気投票・スタンプラリーの当選者が決定致しましたのでご紹介させていただきます。



▲厳正な抽選により当選者を決定しました

かかし人気投票当選者

【安曇野市】

黒岩 様
磯部 様
奥田 様

※かかしの人気投票結果 (全 481 票)

1位 ルフィー (58票)
2位 ちいかわとハチワレ (54票)
3位 女性部員募集中 (53票)

スタンプラリー当選者

(松本山雅観戦チケット)

【安曇野市】

青木 様 中嶋 様 西澤 様 赤岩 様

【松本市】

齋藤 様 富永様 ※たくさんのご応募ありがとうございました。

今月の星占い



牡羊座 (3/21~4/19)

運勢に勢いがあります。レジャーも楽しめるのでリッチな計画を立てて出かけましょう。華やかな装いにツ



牡牛座 (4/20~5/20)

すれ違いが起きやすい月です。説明は丁寧。手順通りに進めれば下旬には成果が見え始めます。旅行は近場が吉



双子座 (5/21~6/21)

思い立ったが吉日、フットワークの良さが光ります。チャレンジ精神を発揮して新しいことを始めるのも◎



蟹座 (6/22~7/22)

自分のペースを大切に。周りの言うことを気にし過ぎないようにしましょう。おいしいものを食べて運氣アップ!



獅子座 (7/23~8/22)

星の加護に恵まれ勢いがあります。正面突破でもいけますが協力者を募るのも◎。いろいろ試してみましょう



乙女座 (8/23~9/22)

上昇運です。困難な状況を解消するために手を尽くしましょう。諦めない気持ちが好結果をもたらします



天秤座 (9/23~10/23)

コミュニケーションが良好に。話し合いの機会をつくりましょう。良い方向に向かいます。共同作業にツキあり



蠍座 (10/24~11/22)

思うようにならないことが増えますが短気は禁物。時期を待つことで状況は改善されていきます。読書で開運



射手座 (11/23~12/21)

ピンチはチャンス、追い込まれたら反撃のときです。今までにやったことのない方法を選択するのもいいでしょう



山羊座 (12/22~1/19)

小さな不調を見逃さないように。早めの対処が好循環につながります。困ったときは経験者の意見を参考に



水瓶座 (1/20~2/18)

対人運が活性化。たくさんの人に会うと良いひらめきを得られます。レジヤスポットでいいことがあります

魚座 (2/19~3/20)

神経質になりがち。緊張で体を硬くしてしまうと状況まで硬直させてしまいます。リラックスを心がけましょう

みんなの声



高橋節郎記念館

の裏には、ホタルが飛び交います。水のキレイな安曇野ならではの友人に羨ましがられました。
(安曇野市 丸山さん)

このころの暑さはなんでもよいか。夏本番を前に異常な暑さで畑仕事も大変。こまめな水分補給で乗り切りたいものです。
(安曇野市 松井さん)

やっと梅雨でも暑い日々が続いています。それでも夏野菜は元気に育ってくれています。朝晩は野菜の収穫で、汗だくですが嬉しい限りです。
(安曇野市 倉科さん)

猿、カモシカは当たり前だったのに、いよいよ熊まででてきて人間が小さくなって生活する今日この頃。お仕置きしても帰ってきてしまうので何とかして欲しいものです。
(松本市 斎藤さん)

祭事の日程変更について

令和6年JAあづみオリジナルカレンダーに掲載してあります、下記の祭事の日程が変更となりましたのでお知らせいたします。

| | |
|----------------------|------------------------|
| 【変更前】 9月7日~8日 | 【変更後】 9月14日~15日 |
| 島新田 青嶋神社祭 | 島新田 青嶋神社祭 |
| 青木花見 戸隠神社祭 | 青木花見 戸隠神社祭 |
| 狐島 白狐神社祭 | 狐島 白狐神社祭 |

理事会報告

〈7月29日開催〉

- 令和5年度 部門別・場所別経営分析結果について
- 令和6年度 仮決算方針並びに日程について 他

スクラム

7月19日現在

- 直売所「安曇野スイス村ハイジの里」登録会員 / 723

JAキャッシュカードを紛失されたときは

JAバンクキャッシュカード紛失共同受付センター
(365日、24時間対応)
☎ 0120-024-040

JAカードを紛失された時は

NICOS盗難・紛失受付センター
(365日、24時間対応)
☎ 0120-159-674



2023 金賞「豊稔を祈って」

JAあづみ創立60周年記念事業

2024 応募受付期間
8/1(木)~8/31(土)
当日消印有効

JAあづみ
2024

フォトコンテスト作品募集!!

安曇野に息づく伝統や地域農業にスポットをあてた写真を募集します

応募方法

題名、撮影場所、撮影月日、郵便番号、住所、撮影者氏名、年齢、電話番号を明記したものを作品に添付して、JAの本所、各支所・出張所、ふれあいセンター窓口へ直接提出していただくか、郵送の場合は下記までお送りください。

〒399-8283 長野県安曇野市豊科4270-6

JAあづみ総務開発事業部総務課「フォトコンテスト」係

- ・入賞作品の著作権は、主催者に帰属させていただきます。(後日、フィルム、デジタルカメラの場合はデータを提出していただきます)
- ・作品の返却をご希望の方は、作品に返却希望の旨を必ず明記し、送料分の切手と封筒をこ同封願います。

作品の条件

- ・JAあづみ管内の農作業風景や伝統(文化・食・工芸・祭りなど)が含まれ、季節感のある作品。
- ・未発表の写真に限ります(デジタルカメラのデータは500万画素以上で撮影されたもの)。
- ・被写体に人物が登場する場合、本人に了解を得たものに限ります。
- ・応募者本人が撮影したもので、四切(ワイド可)とします。
- ・応募点数はお一人様5点まで。特定の季節に偏らない作品(例:春夏秋冬 各1点)。写真1枚を1点とし、組写真は不可とします。
- ・2019年9月1日以降に撮影されたものに限ります。

賞・審査

- | | |
|----------------------|----------------------------------|
| ■ 金賞(1点) 賞状・賞金(5万円) | ■ 安曇野季節賞(各季節1点ずつ計4点) 賞状・賞金(各1万円) |
| ■ 銀賞(2点) 賞状・賞金(各3万円) | ■ 市民タイムス賞(1点) 賞金(1万円) |
| ■ 銅賞(2点) 賞状・賞金(各2万円) | ■ JA共済連賞(1点) 賞金(1万円) |
| | ■ 日本農業新聞賞(1点) 賞金(1万円) |
| | ■ 農協観光賞(1点) 賞品(1万円分) |
| | ■ 佳作 商品券 |

上記の各賞は、JAが選考した審査員により決定致します。

※入賞作品はJAオリジナルカレンダー、JAあづみホームページ等に活用させていただきます。
※賞の内容が変更になる場合がありますので予めご了承ください。

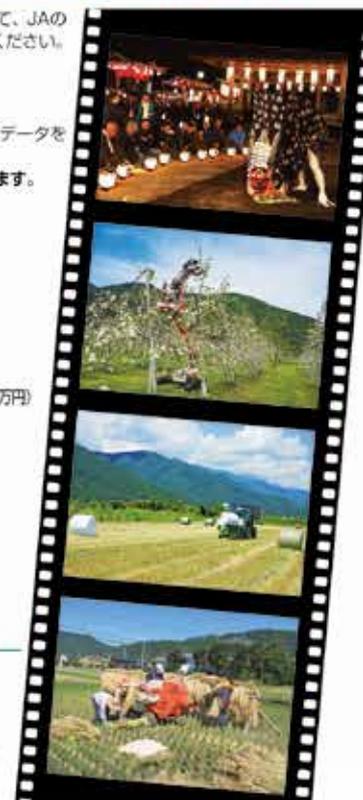
入賞発表

2024年9月下旬、入賞者に直接通知するとともに、広報紙「スマイル」、JAあづみホームページ(<http://www.ja-azumi.ijian.or.jp/>)並びに報道機関を通じ発表いたします。

【主催・お問い合わせ】 **JAあづみ** TEL.0263-72-2930 代

【後援】 安曇野市・松本市

【協賛】 (株)市民タイムス・全共連長野県本部・(株)日本農業新聞・(株)農協観光



あづみ農業協同組合

- スマイル/No.700 2024年8月1日発行
- 発行人/宮澤 清
- 編集/スマイル編集委員会 編集事務局/総務開発事業部総務課
〒399-8283 長野県安曇野市豊科 4270-6
- <http://www.ja-azumi.ijian.or.jp/> ●印刷/有限会社安曇印刷



JAあづみHP

SNSで旬な情報を投稿しています



MATSUMOTO
Yamaga F.C.

JAあづみは松本山雅F.C.を応援しています